

令和 5 年度 幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園 学校評価の取り組みについて



平成 20 年度、幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園では、文部科学省より新潟県私立幼稚園協会を通して学校評価の推進に関する調査研究の委託を受け調査研究を実施、平成 21 年度も引き続き文部科学省から「幼児教育の改善・充実調査研究」委託事業として研究テーマ「幼保連携型認定こども園における学校評価の在り方について」全国唯一の調査研究の委託を受け、調査研究を進めました。

学校評価とは、教職員一人ひとりの自己評価から始め、自己評価結果のまとめと分析を行い、教職員全体で課題を共有し、改善策を立て実行していく課程を自己評価結果公表シートとして公表するものです。

学校関係者評価は、委員会メンバーが年 3 回ほど保育現場の状況を視察し、学校評価の進捗状況を確認した上、公表前に自己評価結果を報告後、評価を頂き、学校関係者評価として公表しております。

令和 5 年度幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園の学校評価をご報告いたします。

令和5年度 幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園の

学校評価について

I 教育方針について

・教育理念並びに教育目標

教育・保育基本方針

身体・精神(心)・知能の発達段階を確認しながら、
「出会いが人をかえ、感動が人をつくる」
ことをモットーにバランスよく育ててまいりたいと考えております

認定こども園の乳幼児教育の理念

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期

教育基本法や児童福祉法と金城幼稚園・金城保育園・わかば保育園
塩沢金城わかば児童館の保育者が築き上げてきた経験と実績をふまえ、
認定こども園の乳幼児教育の理念を次のように決めました

幼保連携型認定こども園 金城幼稚園・保育園 乳幼児教育基本方針

一人ひとりの園児がこれからの長い人生を生きる勇気・知恵・やさしさをもてるよう直接的・基本的な体験をさせる

認定こども園の乳幼児教育目標

子どもにとって必要な生活体験



・教育課程

教育課程(別紙：入園のしおり参照)

・姉妹施設との連携

認定こども園敷地内にある塩沢金城わかば児童館とは、子育て支援の拠点+放課後児童クラブ(3クラブ)運営、合同行事開催、並びに保育所型認定こども園わかば保育園・小規模保育事業わかば保育園とは、合同行事や合同職員研修を行っている

塩沢デイサービスセンターゆきつばき、雲洞グループホーム・デイサービスセンターつばき園の老人介護施設もあり積極的に交流並びに合同職員研修を行っている

II 教職員について

・教職員数並びに免許・資格 (令和6年3月1日現在) (育児休業時短者：保育教諭：1名含む)							
職名	資格・免許	経験年数	人数	職名	資格・免許	経験年数	人数
園長	幼1・中1・高2・保育士 社会福祉主事任用資格	37年	1名	副園長	幼1・保育士	22年	1名
教頭	幼1・保育士	19年	1名	主幹保育教諭	幼1・保育士	18年	1名
副主任(専門リーダー)	幼1・2・専・小専・保育士・養護 1	6年~11年	7名	保育教諭	幼2・保育士	1~16年	5名
保育教諭	幼2・保育士	6年	1名	保育教諭(パート)	幼2・保育士	11~16年	5名
栄養士	栄養士	2~10年	2名	看護師(パート)	看護師・保健師	5年	1名
保育補助	子育て支援員等	4~10年	4名	体育講師・英語講師		9~13年	2名
栄養士	管理栄養士・栄養士(兼務含む)	4~7年	2名	事務・営繕	常勤・パート(兼務含む)	2~10年	4名
運転手	大型自動車運転免許	38年	1名	調理師	常勤・パート	2~10年	2名
平均経験年数		17.7年	43名	嘱託医等	医師・歯科医師・薬剤師	6~33年	3名
<p>・園外研究発表実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県 私立幼稚園特色教育振興モデル事業 平成11年度実施(スキー教室並びにスキー大会) 文部科学省 研究指定事業 平成12・13年高校生等保育・介護体験事業実践調査研究委託園 新潟県 地域子育て支援の拠点サポート幼稚園 平成13年度より実施 文部科学省 平成16年度教育改革モデル事業 文部科学省・厚生労働省(幼稚園・保育所一体型施設) 「平成17年度総合施設モデル事業」実施 わかば保育園との連携(全国35施設の一つに選ばれる) 全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修大会 平成19年度：平成22年度問題提起園 新潟県私立幼稚園協会 新潟県幼児教育講座 平成19年度研究発表 文部科学省 平成20年度幼稚園における学校評価の推進に関する調査研究委託園 文部科学省 平成21年度幼保連携型認定こども園における学校評価の推進に関する調査研究委託園 文部科学省 平成22年度幼児教育理解推進事業(中央協議会) 研究発表園 新潟県 教育委員会 平成22年度幼稚園教育研究集会 実践発表園 新潟県私立幼稚園協会 平成26年度新潟県私立幼稚園教員研修大会 研究発表園 鎌倉女子大学との共同研究 平成27年度から3年間 「保育組織の活性化に関する研究～初任者の成長に焦点を当てて～」 新潟県私立幼稚園・認定こども園協会 平成27・28年度 「公開保育コーディネーター検討委員会」公開保育実施園 新潟県私立幼稚園・認定こども園協会 平成28年度 中越地区研修会 「学校評価と公開保育による保育の質の向上と当園の幼保小連携の現状について」講師 全日本私立幼稚園連合会 平成30年度 認定こども園「教育・保育 質の向上」全国研修会 講師 文部科学省 平成30・31・令和2・3年度人材確保事業 新潟県私幼受託 キャリアパス導入事例発表 新潟県 教育委員会 教育センター 令和2年度「新潟県新規採用幼稚園教員研修」実施園 毎年 夏期・冬期各施設合同園内研修開催 							

Ⅲ 園児について

・園児数並びに学級数 (令和6年3月1日現在)						
年 齢	クラス名	園児数	2・3号児 童	1号児童	担任資格	副担任資格
0歳児	も も	11名	11名	0名	保育士・幼2	看護師・保育士・幼1外
1歳児	ひまわり	11名	11名	0名	保育士・幼2外	保育士・幼2
2歳児(満3歳児)	ちゅうりっぷ	13名	8名	5名	保育士	保育士・幼2
3歳児	ば ら	15名	7名	8名	保育士・幼2	保育士・幼1
4歳児	き く	20名	17名	3名	保育士・幼2	保育士・幼2
5歳児	さくら	14名	12名	2名	幼-専・小専	保育士・幼1

Ⅳ 施設や設備について

園庭や園舎、敷地の面積	
面 積	4, 1 1 3. 7 3 m ²
園舎面積	2, 0 8 6. 2 6 m ² (児童館含む)
園庭面積	1, 5 0 0 m ²
施設・設備	(児童館施設共用化含む) 保育室(7)・遊戯室(3)・クライミングウォール・乳幼児室(1)・図書室(1) 子育て支援室(2)・ランチルーム(1)・調理室(1)・創作活動室(2)・職員室(1) 事務室(1)・会議室(1)・園長室(1)・職員休憩室(1)外
安全に係る配慮	
毎月の避難訓練の実施	
非常通報装置の設置と警備保障会社との委託契約	
地元警察署との連携	
園児登園後の電子施錠	
給食の安全管理	
一般医療機器 スマートボタン体動センサMB-01 ルクミー使用による午睡確認、通信アプリ使用による緊急連絡網の活用	

Ⅴ 保育料等について(1号認定)

☆保育経費 (月合計額) (①+②) 4,875円～8,825円

①保育料 (月額) 保育料無償化

②実費徴収額 (月額) 2,900円(教材・子ども料理・スキー教室費用)

(月額) 5,325円(完全給食・年165回程度等含む。副食費のみ無償化対象児有)

栄養剤 (月額) 200円

PTA会費 (月額) 700円・PTA総会にて決定

注：スクールバス代(月額) 3,000円程度 (希望者のみ・地域により異なる)

入園時 ◎入園手数料(願書提出時) 1,000円

◎学用品代(初年度分) 約3,000円(実費)

※制服・その他は実費とします

※2号・3号の①保育料は公立保育所や認可保育所と同じ

※2号の②実費徴収額は5,144円～9,925円(教材・子ども料理・スキー教室・体操教室等費用+給食)

※3号の②実費徴収額は0円

VI 教育内容等について

・教育内容と教育環境について

「幼稚園教育要領」・「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園保育・教育要領」を踏まえ「地域の特徴」に基づき、乳幼児教育・保育基本方針、理念、教育目標を策定し、教育課程、年齢毎の年間・学期・月・週・日毎の指導計画を作成し、きめ細かな乳幼児保育を行っている

1. コミュニケーション能力(国際理解教育)と環境適応能力(環境教育)の実践
2. 子ども料理教室やスキー教室・体育教室など実体験をとまなう諸活動
3. 一人ひとりの成長・発達に合わせた指導・援助がきめ細かく行なえる複数担任制

【0歳児・1歳児・2歳児(満3歳児)・3歳児・4歳児・5歳児】

4. 広い園庭と児童館や隣接小学校との連携まで含めた地域と協調した教育

直接的・基本的な体験が重要と考え、畑や田の作物作りから始まる「子ども料理教室(毎月)」「スキー教室(冬期間)」「老人福祉施設訪問」「クライミングウォール」「小学校と連携した生活習慣調査」など地域と協調し、施設の特徴をいかした乳幼児教育の実践

5. 特別な支援を必要とする乳幼児が2名在籍、支援員(特支専資格者等)を配置し対応
6. 感染症対策のため抗ウイルス対策を施したトイレ

・預かり(ぬくもり)保育について

保護者やご家族の希望に応じて、朝7時30分から夕方19時まで実施

・子育て支援について

令和元年度よりプレキンダー(1・2歳児の未就園児対象:週1回登園)を開始。

幼稚園敷地内にある児童館を中心に行っている。具体的には、ママズカフェ・あそびの広場・手作り広場・モグモグ広場・親子料理教室・親子保育園体験・アロマ講座・みのりクラブ・わくわくコーナー・リフレッシュ教室など、充実した内容の講座や教室を開催している。また、経験豊富な保育士・管理栄養士などが育児・保健相談に応じている

・給食等の実施について

① 完全給食の実施

② 食育についての取り組み

給食前に、毎回担当栄養士から食材や栄養・食事マナーについて園児へ話をしている

魚沼産コシヒカリ(塩沢産)を農家から直接納入、園内で精米するなど地産地消に努めている

幼稚園の畑や田で苗や種から作った野菜やお米を収穫し、その野菜やお米を使い、月1回クラス毎に子ども料理教室を開催して食育に努めている

・保護者会等の活動について

P T A組織があり、園の各種行事参加やP T A独自の活動「にこにこクラブ」がある。特に、運動会のクラス毎の仮装や、お遊戯会の歌の発表は、園の名物となっており、子ども達・参加者とも大きな楽しみのひとつになっている。今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したことにより、通常の保護者参観等が出来る行事が多くなった。

・登園・降園について

基本的には、保護者が送迎で、希望により園バスで送迎を行う

・園児募集について

毎年、10月中旬から11月中旬にかけて募集を行い、定員にあきのある場合は、随時入園が可能

・図書の取り組みについて

平成29年度より、南魚沼市図書推進計画が始まったこともふまえ、実施した図書活動、絵本コーナーを園児玄関前に設置、毎週火曜日の貸出日には園側のお勧め絵本(10冊)はすべて貸し出しとなる時も多い「おはなしタイム」の実施、「おはなしのじかん」発行

・保育園留学について

・南魚沼市からの要請により昨年度8月より保育園留学幼児の受入開始